第２２期運営委員立候補声明

金田恆孝

〈立候補理由と所信表明〉

日本臨床心理学会運営委員に立候補します。
心理療法をめぐって国家資格化・呼称、医師との関係など、諸団体のエゴなどが錯綜し、現代の心の 病をどうとらえ、どう向き合っていくのかという臨床の本質的な議論や研鑽がおざなりにされている感 が否めない。

特に、明治政府による「近代化」政策のもとで、古代 からの癒しのわざ、「山岳修験者」たちによる 療法、シャーマンによる「口寄せ」「狐憑き」等々、綿々と受け継がれてきた、人間性回復・変容のため の遺産を、西洋医学の知見だけで切り捨てた罪はあまりに大きいと思われる。

地域性や歴史性、関係性などを切り捨てて、病んでいる部位のみ、分類された病気のみを治療対象と し、エビデンスを競う哲学とは異なる療法があった。近代化によって断ち切られた繋がりを回復させて いくことにより、古から流れている「共同の無意識」に近づきながら、「今ここ」における関係の回復を ともに模索できる臨床家でありたいと願う。これまで牧師をしながらカルトと呼ばれる熱狂集団参加者 との家族カウンセリングなどを行ってきた。先祖は里の民から追われた山の民であり、父は神主。自分 自身に布置された課題を解きながら、日本臨床心理学会の中から、日本の地における療法の継承・回復 を訴えていきたいと願っている。

　21期運営委員会各委員の、京都大会（平成27年９月４日開催）に於ける総会妨害の所業は許しがたい。
　ここに強く抗議する。